



日積 PRIDE: 「大好きな ふるさと日積を 笑顔とパワーで ますます元気に」

日積小ホームページはこちらから



回 覧 令和8年9月1日
柳井市立日積小学校 ☎ 28-0012
柳井市日積6951 FAX 28-0148

学校評価（令和8年度前期）の結果について

コミュニティ・スクール運営診断アンケートの結果をお知らせします。全対象者（児童・保護者・学校運営協議会委員・教職員）からご回答いただきました。児童、保護者の肯定率と、アンケート結果より考察したことをまとめています。いただいたご意見は今後の教育活動に生かしていきます。ご協力、ありがとうございました。

重点取組事項	質問内容		児童 (22名)	保護者 (22家庭)	考察(成果と課題、改善策等)
			前期肯定率 (%)	前期肯定率 (%)	
確かな学力	1 分かる授業		95	100	◎「授業がよく分かる」「授業中人の話をよく聞いたり自分の考えを発表したりしている」「友達と活動したり話し合ったりしながら自分の考えを広げ深めている」については児童、保護者とも概ね評価が高い。 ◎「家庭学習」についても、「家で宿題や自主学習に進んで取り組んでいる」(児童)「ヤッホーWeekなどの機会に子どもが進んで取り組めるように一緒に取り組んだり声掛けをして励ましたりしている」(保護者)ともに高く、家庭での声掛けが効果的であることがうかがえた。今後も、学びに向かう意欲の向上と基礎基本の定着に向けて、家庭の協力を継続していただきたい。 △読書については、「読み聞かせを楽しんだり昼休みに図書室の本を借りたりして読書に親しんでいる」(児童)の評価が概ね高いのに比べ、「子どもに読書をするよう働きかけたり、子どもと一緒に読書を楽しんだりしている」(保護者)の評価は高いとは言えない。2学期以降、保護者を巻き込んだ取組の場を設定していく予定である。
	2 話す・聞く		95	100	
	3 かかわりあいを通して、学び、深める(考える子)		95	100	
	4 家庭学習への取組		95	95	
	5 読書への取組		91	64	
豊かな心	6 あいさつ		100	100	◎「あいさつ」については、児童、保護者とも評価が高い。周りの大人が姿で示すことの大切さを感じる。 ○「きまりを守り、言葉遣いやマナーに気を付けて仲良く協力し合う」については保護者と児童の評価に若干ずれが見られた。 ◎「自分や友達の良いところを見つけたりよいと思うことを進んで行ったりしている」(児童)「子どもの良さを認め伝えるように心がけている」(保護者)については概ね評価が高い。今後も互いのよさを認め合う場を積極的に設けることで、自己肯定感、他者肯定感を高めていきたい。 ◎「誰に対しても優しく思いやりをもって接している」については、児童、保護者とも概ね評価が高い。今後も家庭や地域と連携して「ほかぼか行動」のできる児童を増やしていきたい。 ◎「児童・保護者との約束」の評価が高い。保護者の中に「わからない」という評価もあったので学校だけで再度示していく。
	7 きまりを守り、協力し合う		95	86	
	8 互いのよさを認め、高め合う		95	95	
	9 ☆チャレンジ目標「いつでもだれにでもほかぼか行動」(思いやりのある子)		95	95	
	10 児童・保護者との約束		100	100	
健やかな体・学校安全	11 学校生活の楽しさ		95	100	◎「学校は楽しい」(児童)「子どもは楽しく学校生活を送っている」(保護者)については児童、保護者とも概ね評価が高い。 ○「外遊びやおうちで運動」「基本的生活習慣」についても概ね評価が高いが、2学期以降「すこやか調べ」などを通して家庭と連携した取組を充実させていきたい。 ○「仕事・掃除」については、「係や委員会活動、掃除などに進んで取り組んでいる」(児童)の評価は高いが、「家族の一員として進んで仕事をしている」(保護者)は高いとは言えない。 △「メディア利用」については、「約束を守っている」(児童)と「使い方や時間について話し合い約束を守るよう働きかけている」(保護者)にずれが生じていた。学校ではメディア利用の危険性について指導しているが、家庭での取組もお願いしたい。 ◎「何事にも進んでチャレンジ」は、児童、保護者とも概ね評価が高い。今後も児童の取組を支援していきたい。
	12 体力向上・健康増進		91	82	
	13 仕事・掃除などへの取組		95	77	
	14 メディア利用		86	68	
	15 ☆チャレンジ目標「何事にも進んでチャレンジ」(実践する子)		91	95	
連携教育	16 地域・他校との連携(児)学校行事への参加・協力(保)		100	86	◎「地域の人や他校の友達と一緒に活動することは楽しい」「学習や行事の中で地域のことを学んだり地域のためにできることを考えたりしている」(児童)の評価が高い。地域への感謝や愛着の念を行動へとつなげていきたい。「学校は日積PRIDEの醸成に努めている」(保護者)の評価は高いが、「学校行事等にできるだけ参加・協力している」については個人差が見られた。 ◎「情報発信・情報共有」については概ね評価が高い。今後も継続して努めていきたい。
	17 日積PRIDEの醸成に向けた教育活動		95	100	
	18 情報発信・情報共有			100	